

# 中小企業再生をめぐる諸施策の 展開と地域金融機関の役割

- 1 はじめにー本報告の問題意識
- 2 中小企業再生支援施策の展開と地域金融機関
- 3 中小企業の経営問題への対応における地域金融機関の役割
- 4 おわりに

# 1 はじめに—本報告の問題意識

- 中小企業再生をめぐる施策全体のなかで、地域金融機関は、どのような役割を果たすべきか。
- そのような役割を考える際に、リレーションシップバンキング(リレバン)はどのような意味をもつか。
- 「特別措置」後を見据えた中小企業の経営問題対応策の構想と地域金融機関の役割

## 2 中小企業再生支援施策の展開と 地域金融機関

### 2-1 中小企業再生施策の展開

- 行政的な中小企業再生支援施策の本格的始動:改正産業再生法施行、リレバン I (後述)公表(2003年)
- 中小企業再生支援の多面的展開  
各種行政施策、民商事法制、私的整理に関するガイドライン等
- 多様な「中小企業再生支援機関」の関与
  - 民間機関の専門知識・経験の蓄積
  - 公的機関(中小企業再生支援協議会、RCCなど)の活動

## 2-2 リレーションシップバンキング行政の展開

- 「リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラム」(「リレバンⅠ」) (2003年3月)



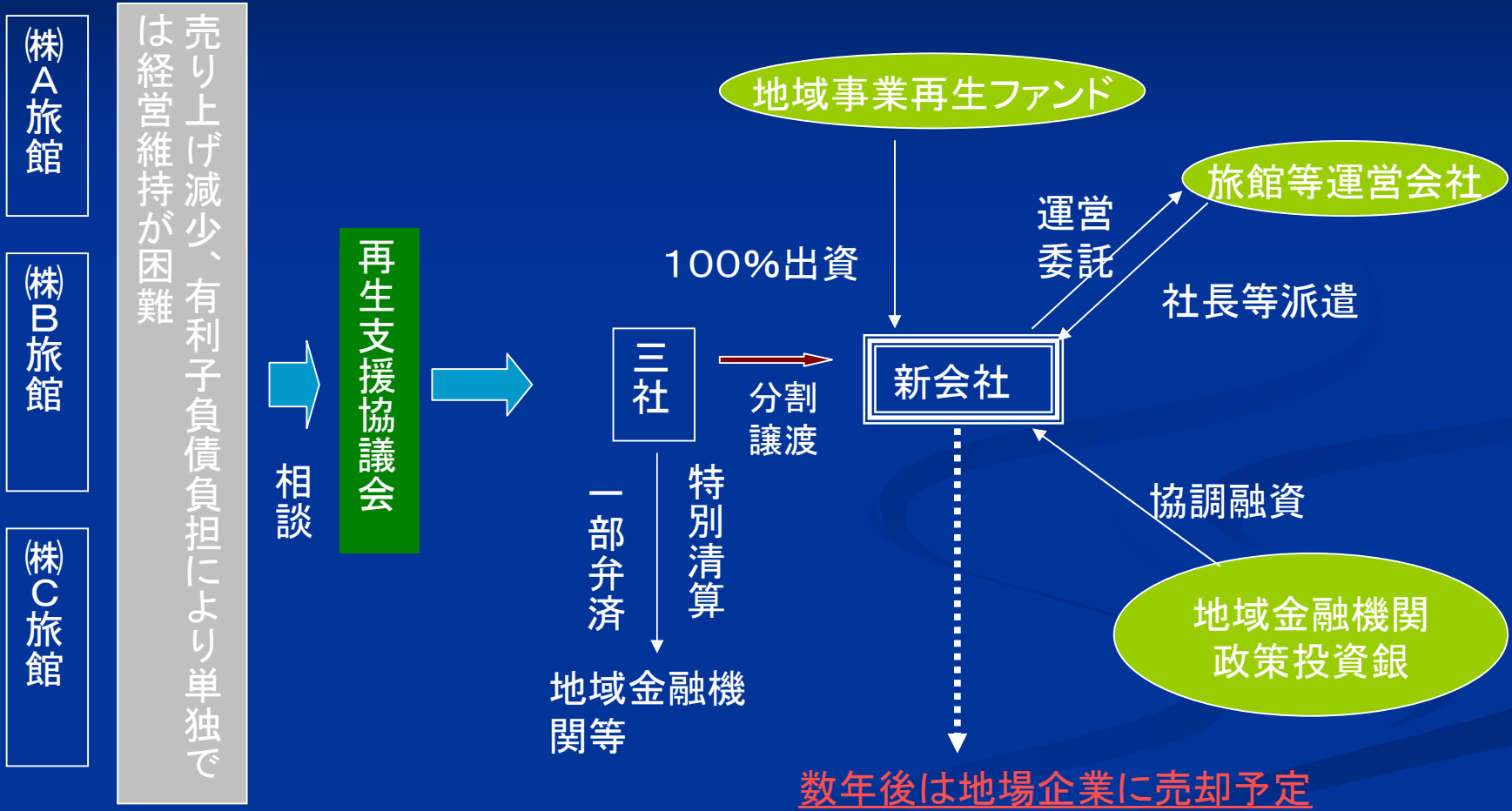
「座長メモ」ーリレバンⅠの実績等の  
評価等に関する議論の整理ー

- 「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム(平成17~18年度)」(「リレバンⅡ」) (2005年3月)

## 2-3 「座長メモ」の指摘

- リレバンⅠの実績の不十分な点
  - 「債権放棄等の財務リストラにとどまっており、構造的要因に対応できるものとなっていない。」
- リレバンⅡに期待するもの
  - 「企業の問題について早め早めに認識・対応」
  - 「財務リストラにとどまらず構造的要因に対応した事業の再構築等を通じた、地方公共団体や商工団体等と一体となった事業再生」
  - 地域における中小企業再生ファンドの積極的活用
  - 「外部人材を活用したノウハウの吸収や、再生ノウハウ共有化の推進」

# 2-4 中小企業再生の実際—温泉再生のケース



# 3 中小企業の経営問題への対応における地域金融機関の役割

## 3-1 「座長メモ」の検討

- 「企業の問題」に対する早期対応
  - モニタリングの問題
  - 外部専門家との事前の連携
- 「構造的要因に対応した事業の再構築」とは？
  - 「地域産業再生」につながる事業再生
  - 「円滑な事業清算」を含む「構造的」事業再編へとつながるのではないか？

## 3-2 個別企業の再生支援における地域金融機関の役割

### ■ 問題の早期発見と早期再生

- コベンツ等によるモニタリングの工夫
- コンサル会社やファンド運営会社等との包括的業務提携契約などを通じた処理態勢の事前構築
- DIPファイナンスやDESなどによる将来の収益源をめざしたビジネスモデルの構築

### ■ 公的機関の利用

- 公的機関は、地域金融機関等のニーズに応じた役割(債権者調整機能)にスリム化すべき



# 3-3 構造的事業再編の場面での地域金融機関の役割

## ■「地域産業再生」の場面

- 事業再生の延長 → 積極関与
- 大規模な地域産業の再生 → 地域金融機関の役割は、行政や業界団体等の施策との協働

## ■「円滑清算」、「新事業創設」の場面

- 創業支援および経営者個人としての再生と一体となった「円滑清算」などへの関与
- 公的施策の必要性 → 地域金融機関の役割は、適時の対応を可能にする情報の提供が中心に

# 4 おわりに

- 中小企業の経営問題の対応場面での地域金融機関の役割

＝「早期」「構造的」対応の基礎となる情報を生産し、それをビジネスの基礎とするとともに、必要に応じそれを社会に提供すること



中小企業の経営問題への対応をめぐる諸施策を再構築するきっかけに